

## 開催概要

# 令和4年度地域包括医療・ケア研修会

## 人口減少社会を見据えた 地域包括ケアの未来を考える ～コロナ禍から学んだこと、取り組むべきこと～

### 日時

2023年**1月13日**(金) 13:30～18:15 ▶ **14日**(土) 9:00～15:30

### 会場

富士ソフトアキバプラザ  
(東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフト秋葉原ビル5F)

### 形式

現地開催及びWEB開催の併用によるハイブリッド形式

### 主催

公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会  
公益社団法人国民健康保険中央会

会場参加者定員

100名

200名

WEB参加者定員

### 目的

全国の国民健康保険診療施設に勤務する職員及び国民健康保険関係職員が、その職種を問わず一堂に会し、保健・医療・介護・福祉の一体的提供を目指す「地域包括医療・ケア」の理論と実践に関する最新の情報を収集交換することにより、「地域包括医療・ケア」の一層の充実を図ることを目的とする。

### 参加者の範囲

国民健康保険診療施設に勤務する全ての職員及び国民健康保険関係者等並びに本地域包括医療・ケア研修会の目的に賛同する者及び国民健康保険の発展に志を同じくする者。

詳細は、国診協ホームページURLにて掲載  
<https://www.kokushinkyo.or.jp/>

### お問い合わせ先(事務局)

公益社団法人  
全国国民健康保険診療施設協議会  
東京都港区芝大門2-6-6  
[TEL]03-6809-2466 [FAX]03-6809-2499  
E-mail:office@kokushinkyo.or.jp

## 会場アクセス

### ● 会場

## 富士ソフトアキバプラザ

(東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフト秋葉原ビル5F)

### ● 交通案内

- ▶ JR線 秋葉原駅 中央改札口より徒歩2分
- ▶ つくばエクスプレス線 秋葉原駅A3改札口より徒歩1分
- ▶ 東京メトロ日比谷線 秋葉原駅2番出口より徒歩3分

## お申込み方法

### ● ①国診協会員施設からの申込み方法

各都道府県国保連合会へ「令和4年度地域包括医療・ケア研修会受講者申込書」を送付ください

### ②国保連合会(国診協都道府県協議会)ご担当者様

参加希望者からの申込書を取りまとめ後、12月21日(水)までに国診協へ送付ください

### ③国診協会員施設以外からの申込み方法

国診協事務局へ「令和4年度地域包括医療・ケア研修会受講者申込書」を直接送付ください

### ● 参加費用／1人:10,000円

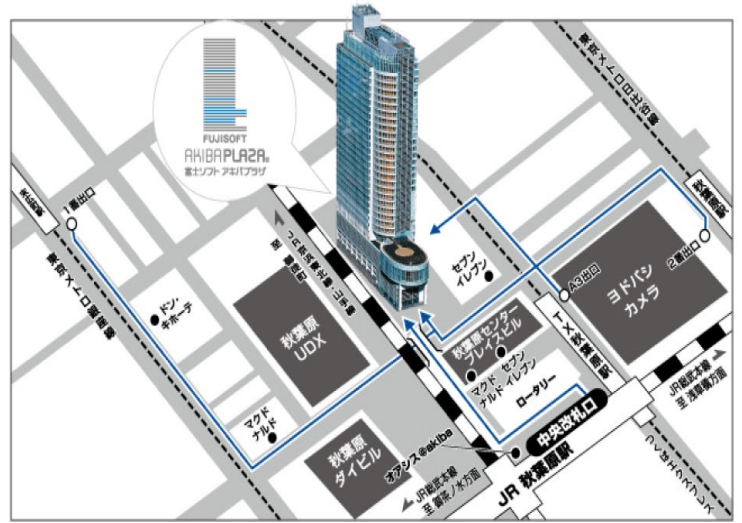
※申込書受付後に請求書を登録メールアドレスへお送りいたします。

振込確認後、メールにて当日の視聴方法について詳細にご案内いたします。

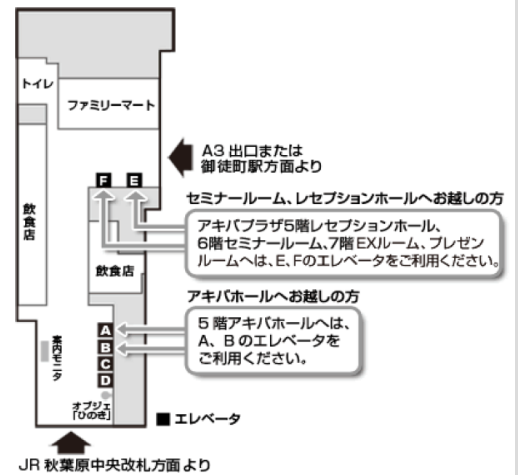
なお、キャンセルの取り扱いにつきましては、本会ホームページ等にてご確認ください。

※現地参加・WEB参加どちらも同じ金額となります。

※現地参加は定員に達し次第締め切りとさせていただきます。



1階フロアマップ



## その他

今研修会は新型コロナウイルスへのできる限りの対策をとります。

具体的には下記「令和4年度地域包括医療・ケア研修会 開催について」のとおりです。

尚、情報交換会の実施はございません

## 令和4年度地域包括医療・ケア研修会 開催について

令和4年度地域包括医療・ケア研修会は、「参加される皆様の安全の確保・感染拡大の防止」と「より充実したプログラムの提供」の2つの観点から、東京会場とWEB配信を併用して開催することを決定いたしました。  
開催にあたっての実施方針は以下の通りです。

### 1 会場参加者数に制限を設ける (会場の定員の半数以下とする)

大会会場におきましては、参加者の皆様の安全確保と感染への拡大を防止するため、感染リスクの高い3つの「密」(密閉・密集・密接)を可能な限り回避できるよう、会場の換気及びアルコール消毒液の配置を行い、会場内はソーシャルディスタンスを確保できるよう参加者間の距離を十分にとった配置とします。入場時には体温計により体温を測定し、37.5度以上の発熱がみられる方には参加をご遠慮いただきます。会場内はスタッフを含め参加者皆様のマスク着用を義務付けさせていただきます。

### 2 WEB配信(ライブ配信)により、 全国の会員に対して学ぶ機会を提供する

従来は開催会場に会場に来場した方がのみが参加できる形式とさせていたおりましたが、WEB配信を行うことで利便性を図り、全国にいる会員の皆様が参加しやすい環境を整えます。開催当日はWEB参加の皆様からの質問も受け付けさせていただきます。単なる視聴ではなく参加の実感を得られる形式といたします。